

・このたびは弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には、施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書を一読くださいますよう、お願い致します。

安全上のご注意



注意

※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

- ・取り付け下地は十分に強度がある材(柔らかい木材、腐れ、虫食いは不可)で行ってください。
- ・専用の施工部材(受け桟・木製アングル・鋼製アングル・脚+ブラケット)をご使用の場合、必ず付属の金具やビスで施工し、確実に固定を行ってください。
- ・カウンターにぶら下がったり、上に乗ったりしないでください。がたつきや破損により、けがをする恐れがあります。
- ・施工は一人では行わないでください。

取り扱いに関するご注意

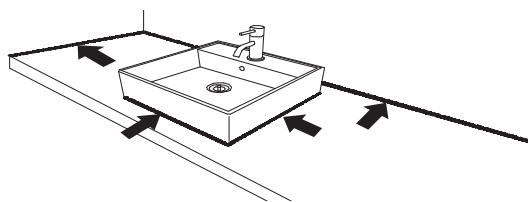
- ①この商品は、一般内装(住宅)用の部材です。屋外用にはご使用になれません。
- ②直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、割れ、反りなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
- ③熱源機など高熱を発するもの、および湿気のあるものを近づけないでください。
- ④オプションの強化塗装を選択いただいた場合においても浴室内部など頻繁に水分と接する場所には使用しないでください。

カウンター施工上のご注意

重要

・本製品は天然銘木を使用していますので、木材そのものの持つ湿気の吸収、放出に伴う反り・割れ・波打ちが発生する場合があります。加工・施工方法が適切でないと、水分の吸収、乾燥により割れや反りの原因となります。下記の点に注意して、加工・施工してください。

- ①施工下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、製品にカビや変色、スキ、反りが発生することがあります。
- ②施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具(保護メガネ、防じんマスクなど)を使用してください。
- ③コンクリート、モルタルなど湿気の溜まりやすい土台への直接の取り付けは避けてください。反りの原因となります。
そのような施工をする場合は直接集成材が触れないように下地材や樹脂シートなどで接する面を被服して施工してください。
- ④取り付け下地の木材は乾燥材を使用してください。生材の使用は反り、割れの原因となりますので使用しないでください。
- ⑤製品の構成上、切断した場合や仕上げ指定面以外では芯材が露出しますので、被覆する場合はオプション施工部材の側面用木口単板をご使用ください。被覆の必要がない場合は反り防止のため、切断面を市販塗料にて3回以上塗装をしてください。
- ⑥洗面ボールなどを水分が飛散する箇所に施工する場合は、洗面ボールとの間、壁面と接する部分など、専用の防水パッキンやシリコン系コーキング剤にて防水処理をしてください。オプション加工のくり抜きを指定いただいている場合、同梱のアルミテープにて断面を保護してください。現場でくり抜きをする場合、断面を市販塗料にて3回以上塗装してください。
- ⑦カウンターの固定は、材割れを防止するため必ず下穴を開けて確実に締めこんでください。
- ⑧施工用部材(受け桟、木製アングル、鋼製アングル、脚)にはネジが同梱されています。必ず付属のネジにて取り付けを行ってください。
- ⑨アルミサッシ等、結露が発生しやすい窓枠をご使用になる場合は製品と直接接しないよう樹脂見切りを入れるなど処置をしてください。長時間、水に濡れのまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、割れ、反りなどの原因となります。



ポイント

洗面ボールなど水分が飛散する箇所に施工する場合は、切断面、洗面ボールとの間、壁面と接する部分など、専用の防水パッキンやシリコン系コーキング剤にて処理して下さい。

1 施工用工具と部材詳細

施工用工具として、次の工具を用意してください。

- ・水準器
- ・電動ドライバー
- ・電動ドライバー用(+)
ビット
- ・木工用接着剤(推奨 コニシ(株):CH18)
- ・ウエス、アルコール(清掃用) ※シンナー、トルエンは不可

●L型形状、長さ接ぎがある場合、上記に加えて次の工具を用意してください。

- ・レンチ(10mm)
- ・クランプ
- ・あて板

●側面用木口単板(別売品)を使用する場合、下記工具を用意してください。

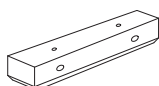
- ・ゴム系速乾接着剤
- ・木製ハンマー、ゴムハンマー、もしくはゴムローラー
- ・カッターナイフ
- ・サンドペーパー(#240推奨)

●施工部材詳細(別売品)

【受け桟】

セット内容

- ・受け桟本体：1個
(35×45×200mm)



- ・壁側固定用ビス(5×70mm)：2本
- ・カウンター固定用ビス(4×45mm)：2本
- ・木栓(φ12×5mm)：4個

【脚 + ブラケット】

セット内容

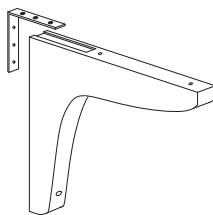
- ・脚本体(60×60×690mm)：1本
- +
- ・上部ブラケット本体：1個
- ・ビス(4×30mm)：4本
- ・ビス(5×25mm)：4本
- ・下部ブラケット本体：1個
- ・ビス(3×25mm)：6本
- ・アジャスター：1個



【木製アングル】

セット内容

- ・アングル本体：1個
(大：27×430×400mm)
(中：27×300×300mm)
(小：27×200×200mm)

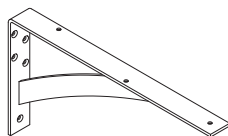


- ・L金具：1個
- ・ビス(4×35mm)：[大・中]3本 [小]2本
- ・ビス(4×45mm)：4本
- ・ビス(4×60mm)：2本
- ・木栓(φ12×5mm)：3個

【鋼製アングル】

セット内容

- ・アングル本体：1個
(大：38×400×200mm)
(中：38×300×150mm)
(小：38×250×125mm)

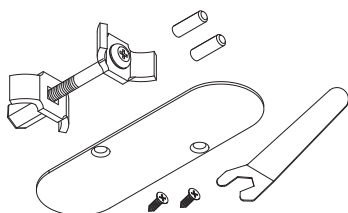


- ・ビス(5×45mm)：[大]5本 [中・小]3本
- ・ビス(5×16mm)：3本

【長さ接ぎ金具セット】

セット内容

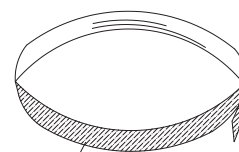
- ・引き寄せ金具：1個
- ・木ダボ：2個
- ・カバープレート：1個
- ・カバープレート用ネジ：2本
- ・レンチ(10mm)：1個



【側面用木口単板】

セット内容

- ・塗装済単板
(粘着材付)：1本



2 施工部材の取り付け要領(CH型・長方形)

施工部材の組み合わせと取り付け間隔(推奨)

【各部材の取付間隔】

部材	取付間隔	下図No	カウンター端部からの寸法	下図No
受け棧	450mm以下	①	100mm以下	④
木製 アングル	大(奥行対応: 450~620mm)	450mm以下	220mm以下	⑤
	中(奥行対応: 330~450mm)			
	小(奥行対応: 230~350mm)			
鋼製 アングル	大(奥行対応: 470~620mm)	1350mm以下	450mm以下	⑥
	中(奥行対応: 390~470mm)			
	小(奥行対応: 280~390mm)			

[入隅部の部材間隔について]

入隅部の部材間隔については、コーナー部から各部材までの寸法の合計が450mm以下になるようにしてください。⇒①'

【施工部材の組み合わせ】

形状	施工部材	壁への設置面	
		○二方壁の場合	○三方壁の場合
CH型 (長方形)	アングルでの取り付け (受け棧併用含む)	<p>※奥行620mmを超える場合は「受け棧+脚」と同様に脚を設置してください。</p>	<p>※奥行620mmを超える場合は脚が必要です。ただし、間口1350mm以下の場合は不要です。</p>
	受け棧のみでの取り付け	施工不可	<p>※間口寸法1350mm以下</p>
	受け棧+脚での取り付け	<p>※間口1350mm以下の場合においても木製脚は必要です。</p>	

⚠ 注意

※カウンターの巾が230mm未満の場合は、木製アングルおよび鋼製アングルが取り付けられませんので、カウンターを壁にのみこませて取り付けください。カウンターを壁にのみこませて施工する場合、ビスにて固定可能なスペースを確保し、下地にしっかりと固定してください。

※脚の取り付けは必ずカウンターの一部を壁面へ固定して施工する組み合わせで使用してください。独立したテーブルの脚としてはご使用できません。

2 L型ジョイント取り付け要領

施工部材の組み合わせと取り付け間隔(推奨)

【施工部材の組み合わせ】

形状	施工部材	出隅の場合	入隅の場合
LT型 (L型留め)	アングル での取り付け (受け桟併用)		
	受け桟+脚 での取り付け		
LD型 (L型突きつけ)	アングル での取り付け (受け桟併用)		
	受け桟+脚 での取り付け		

⚠ 注意

- ※カウンターの巾が230mm未満の場合は、木製アングルおよび鋼製アングルが取り付けられませんので、カウンターを壁にのみこませて取り付けてください。カウンターを壁にのみこませて施工する場合、ビスにて固定可能なスペースを確保し、下地にしっかりと固定してください。
- ※脚の取り付けは必ずカウンターの一部を壁面へ固定して施工する組み合わせで使用してください。独立したテーブルの脚としてはご使用できません。
- ※アングルを用いての入り隅納めの際、奥行が600mmを超える場合は脚併用にて施工してください。

3 L型ジョイント、長さ接ぎ金具取り付け要領

【同梱部材について】

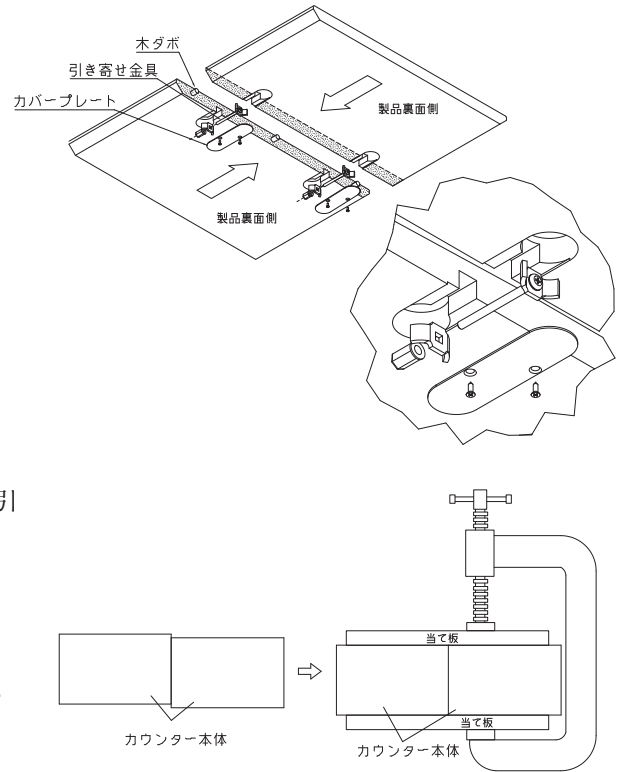
- ・引き寄せ金具 ×1個
- ・木ダボ ×2個
- ・カバープレート ×1個
- ・カバープレート用ネジ ×2個
- ・レンチ(10mm) ×1個

【現場手配】

- ・木工用接着剤
- ・クランプ
- ・当て板

【接合手順について】

- (1) 木工用接着剤(現場調達)を接続面に塗布してください。
※引き寄せ後接着剤のはみ出しをふき取りやすくするため
↓ 塗りすぎないようにしてください。
※接着剤がはみ出した場合はすぐにふき取ってください。
- (2) 木ダボを穴に嵌めこんでください。
※表面面合わせ調整が出来るように、緩めの嵌合となっております。
↓ おります。
- (3) ダボ穴を合わせカウンター同士を嵌合させてください。
↓
- (4) 金具加工溝に引き寄せ金具をセット(右図参照)してください。
↓
- (5) 引き寄せ金具のナットをレンチ(10mm)にて回転させカウンター同士を引寄せ、軽く締めてください。
↓
- (6) 表面段差解消のため、クランプにて繋ぎ部分を締め、面出しし、
↓ 金具ナットを締めてください。
※カウンターが変形するため、クランプの締めすぎに注意してください。
※カウンターとクランプの間に当て板をかまし、カウンターが傷つかないようにしてください。
- (7) カバープレートを同梱のネジにて固定してください。



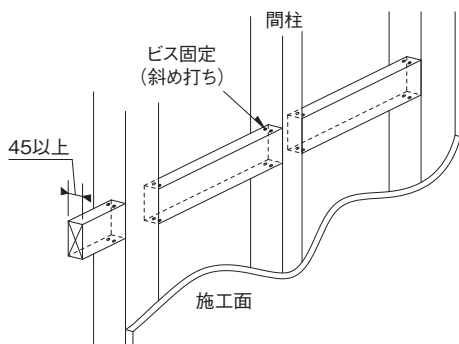
4 施工部材の取り付け方法

1) 取り付け下地について

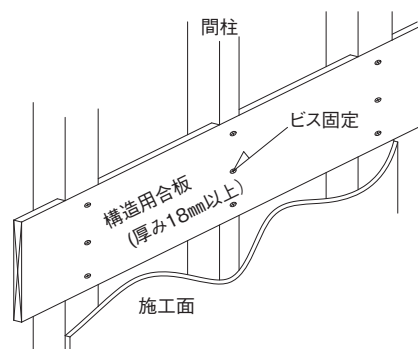
受け桟、木製アングル、鋼製アングル取り付け位置には下地材が必要です。下地材に十分な強度がない場合、カウンターががたついたり受け桟や木製アングルが外れて落下し、けがをするおそれがあります。

! 必ず守る ビス打ちする部分は必ず下地を入れてください。

【間柱(柱)の内々に下地を入れる場合】



【間柱(柱)を切り欠いて下地を入れる場合】

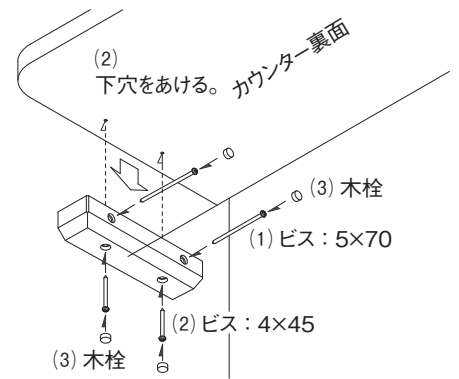


4 施工部材の取り付け方法-つづき

2) 取り付け手順

【受け桟】

- (1) 取り付け位置出し後、受け桟を壁面に固定してください。(ビス：5×70mm)
- ↓
- (2) カウンター裏面に下穴をあけ、ビスで固定してください。(ビス：4×45mm)
- ↓
- (3) 各ビス穴(4箇所)に木工用接着剤(現場調達)を塗布した後、木栓をはめ込んでください。



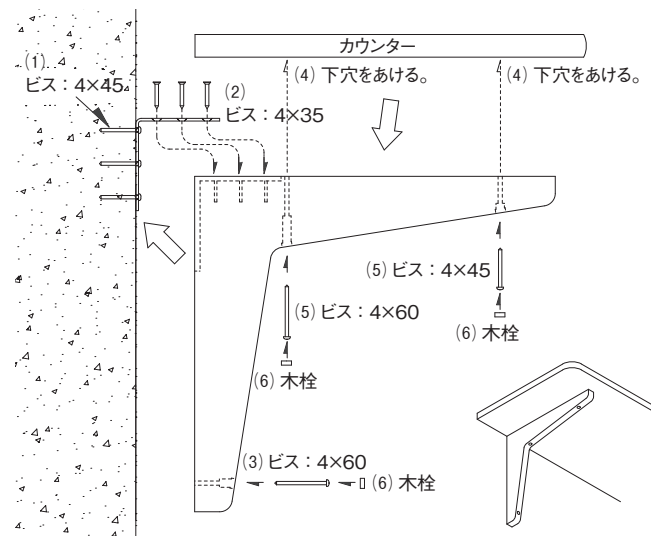
【木製アングル】



取り付け手順にしたがってください。

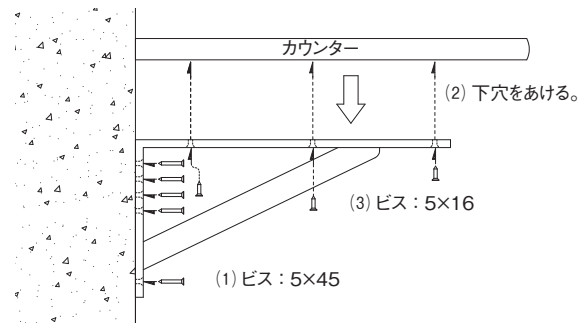
全てのアングルを壁に取り付け後カウンターを載せビス固定してください。カウンターが固定されてからの後付けはできません。

- (1) L型金具を壁に固定する。(ビス：4×45mm)
- ↓
- (2) 木製アングルをL型金具にはめ込み、固定する。(ビス：4×35mm)
- ↓
- (3) 木製アングルを壁側に固定する。(ビス：4×60mm)
- ↓
- (4) カウンター裏面に木製アングル固定用の下穴を2ヶ所あける。
- ↓
- (5) 木製アングルとカウンターを固定する。
↓ (手前側ビス：4×45mm 奥側ビス：4×60mm)
- (6) ビス穴に木工用接着剤(現場調達)を塗布した後木栓をはめ込む。



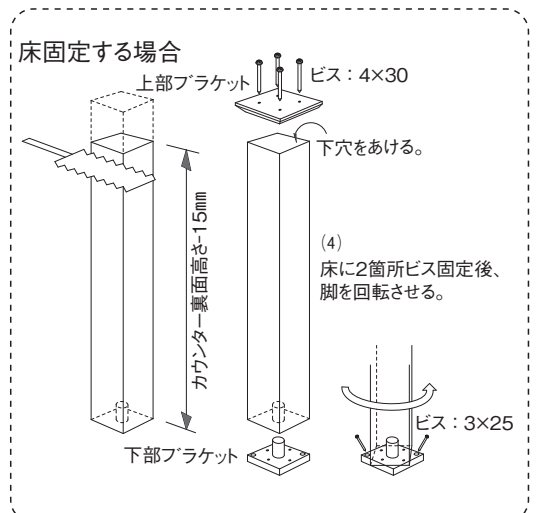
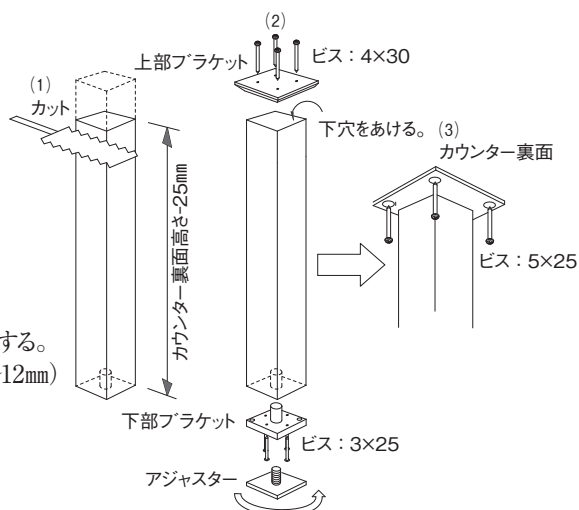
【鋼製アングル】

- (1) 取り付け位置出し後、鋼製アングルを壁面に固定する。(ビス：5×45mm)
- ↓
- (2) カウンター裏面に鋼製アングル固定用の下穴を3か所あける。
- ↓
- (3) 鋼製アングルとカウンターを固定する。(ビス：5×16mm)



【脚+ブラケット】

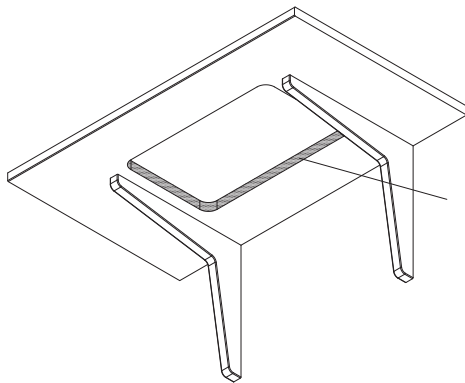
- (1) 脚をカットする。
- ↓
- (2) 上下ブラケットを固定する。
↓ (上用ビス：4×30mm)
(下用ビス：3×25mm)
- (3) カウンターに固定する。
↓ (ビス：5×25mm)
- (4) アジャスターにて高さ調整する。
(アジャスター可動範囲0~12mm)



5 洗面ボールを取り付ける場合

1) カウンターを施工してください。

洗面ボールを設置する場合はたわみ、グラつきが無いようアングルや脚を設置、もしくは下面補強等を行って下さい。



断面を同梱のアルミテープにて被覆してください。
現場加工の場合は断面を市販塗料で3回以上塗装してください。

2) オプション加工のくり抜きをされている場合、くり抜き箇所の断面を同梱のアルミテープで断面を被覆してください。

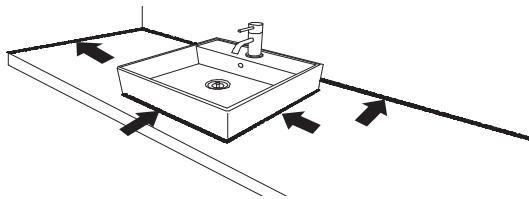
現場加工の場合、断面を市販の塗料にて3回以上塗装し断面を保護してください。

ポイント 断面露出部からの水分の吸収、乾燥による割れや反り、波打ちの原因となります。

3) 洗面ボールの施工説明書を参照し、施工してください。

ポイント 洗面ボールなどを水分が飛散する箇所に施工する場合は、洗面ボールとの間、壁面と接する部分など、
専用の防水パッキンやシリコン系コーキング剤にて防水処理をしてください。

コーキングが不十分な場合、水分の吸収、乾燥により割れや反り、波打ちの原因となります。



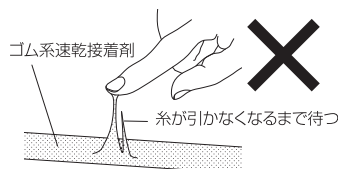
6 側面用木口単板を取り付ける場合

1) (製品をカットした場合) 切断面を平滑に仕上げてください。

2) 木口単板を貼り付ける面にゴム系速乾接着剤を塗り、ヘラやブラシなどを使って、うすくムラのないようにのばしてください。

3) ゴム系速乾接着剤が、指で触っても糸を引かない状態になるまで、十分に乾燥させてください。

ポイント 糸が引く状態で貼り付けてしまうと、後から木口単板がはがれる可能性がありますので十分に乾燥させてください。



【乾燥時間の目安】

コニシボンドG17 の場合	冬 (5℃)	春・夏・秋 (20~30℃)
	5~10分	5~15分

4) 木口単板を必要な長さにカットし、裏の剥離紙をはがして、粘着面とゴム系接着剤を塗った面を貼り合わせてください。

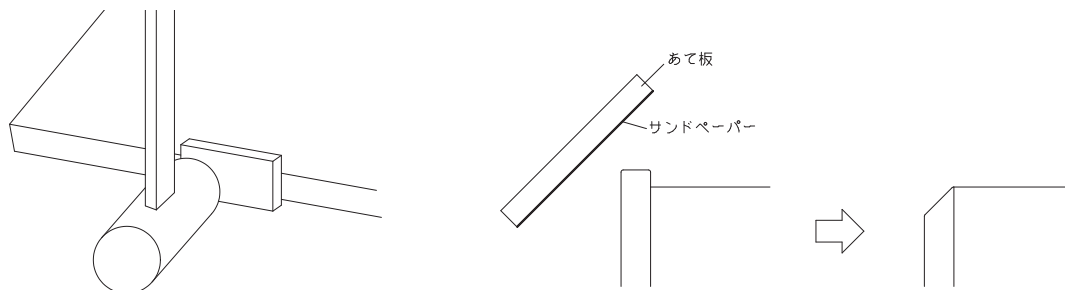
6 側面用木口単板を取り付ける場合-つづき

5) 木製ハンマーやゴムハンマー、またはゴムローラーなどでよく圧着してください。

ポイント 木製ハンマーを使用する場合、製品に凹み傷がつかないようにあて木を使用してください。



6) 側面用木口単板がはみ出した部分をカットし、カットした面にサンドペーパーをかけ、面を作ってください。
サンドペーパーを当て板等に貼り付けてかけると面をつけやすいです。



7 施工後の養生

施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。

ポイント



製品に直接、養生テープを貼らないでください。剥がした際に表面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

8 お引渡しまでの間のご注意

換気についてのご注意

当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでできるだけ、居室等の換気に努めてください。

水ぬれ等に対するご注意

工事完了後は、雨水にぬらさないよう、ご注意ください。万一、水ぬれした場合はすぐに拭き取り十分に乾かしてください。ぬれたまま放置しておくと、シミになることがあります。

WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京千葉・東関東)チーム 03-5569-5512

支店 神奈川チーム 03-5569-7701

東部特需ユニット 03-5569-5513

スペースソリューション部 03-5569-5514

大阪(大阪)チーム 06-6245-9501

本社 西部特需ユニット 06-6245-9502

スペースソリューション部 06-6245-9503

アメニティリビング部 06-6245-9503

北海道(札幌) 011-207-1177

東北(仙台) 022-287-0145

北関東(上尾) 048-775-0471

東京西(府中) 042-361-3634

名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830

中四国(岡山) 086-897-3791

九州(福岡) 092-481-5228